

風土に根ざした伝

古来からの風土に根ざした勝れた文
です。社会的に価値のある遺跡、ある
芸を掘り起し、これをひとつの地域の
に意義のあることではないでしょうか。

伝 統 工 芸



▲川尻刃物の種類は多く、包丁だけでも薄刃、出刃、刺身など30種類にもおよびます。



▲手づくりから生れる伝統工芸の味わい。

川 尻 刃 物 (熊本市)

川尻刃物は旧藩時代に細川家造船所の下請
けとして起りました。川尻刃物の生命はその
切れ味にあります。軟鋼を焼き、割って鋼鉄
をはさみ、また焼いてたたき包丁の型どりを
します。この火造りの段階で七回〜十二回も
焼きます。不要部分をカッターで切り、川尻
刃物の刻印を入れ、グラインダーにかけ、そ
して焼き入れ砥石にかけます。

川尻刃物の切れ味の秘密はこの火造り、焼
き入れ、とぎという工程にあります。

川尻刃物にもベルトハンマー等機械化もみ
られますが、工程の主要部分はいぜん手づく
りであり伝統工芸品の味わいをだしています。

統文化を大切に

化伝統というものは大事にしたいもの
いは文化の保存。野趣に満ちた伝統工
産業として伸ばすこと。いづれも大変

文 化 財

人間国宝 米光 太平

明治二十一年五月一日、熊本市北新坪井町に生まれる。明
治三十六年熊本高等小学校卒業後象嵌作りに専念し、昭和四
十年重要無形文化財肥後象嵌透の保持者として認定されい
ゆる人間国宝となり、今日なお製作に旺盛な意欲をみせてい
る。



▲八ッ花天竜透渦巻象嵌(鐶)



▲米光太平さん (87歳)



▲大智墨蹟



▲広福寺文書…大智の手形が押ししてあります。



▲広福寺伝衣付囃状

広福寺の古文書 (玉名市石貫・広福寺所蔵)

― 国指定重要文化財 ―

広福寺は、禅宗(曹洞宗)の寺院で、南北朝時代に菊池氏が大智
禪師を招いて開いた由緒深い寺院です。仏像や古文書等たくさんの
寺宝のうち、古文書三件が国指定の重要文化財となっています。一
つは菊池氏関係の起請文や寄進状など百八通を四巻にまとめた広
福寺文書(百八通)です。一つは、曹
洞宗の嗣法(あとつぎ)に関する広福
寺伝衣付囃状(四通)で、開祖の道元
の袈裟を後継者に伝授した時の文書四
通です。この袈裟も指定されています。
もう一つは、東谷明光(南宋の人)の
除夜偈を書いた大智墨蹟で、黄山谷(北
宋の人)の書風をよく伝える貴重な
ものです。
大智は、中国で勉強した宇土郡不知
火町出身の高僧で、曹洞宗法統第六代
をつぎました。